

保健医療学部実験動物施設

中島 孔志^{1,2)}

- 1) 保健医療学部 臨床工学科
- 2) 保健医療学部 実験動物施設 施設管理責任者

1. 所在

〒350-1241
埼玉県日高市山根 1397-1
埼玉医科大学保健医療学部

2. 管理体制（構成員）

学部長：加藤木利行
実験動物施設（B棟 6F B604）：問い合わせ先（外線：042-984-4880 内線：42-3624）
施設管理責任者：中島孔志（兼任：保健医療学部臨床工学科）
実験動物管理者：萩原克美（兼任：中央研究施設実験動物部門）

3. 設備・備品

実験動物施設（B棟 6F B604）
実験室（前室）
・マウス・ラット用実験用簡易吸入麻酔装置 NARCOBIT-E II 型（株）夏目製作所，KN1071）
・殺菌線消毒ロッカー（AW-G，アズワン（株））
・オートクレーブ（SX-500，（株）トミー精工）
・上開き式冷凍庫（JF-NC319A，ハイアールジャパンセールス（株））
飼育室（マウス・ラット・モルモット・ウサギ）
・飼育セーフティラック（ラット用，4列4段）（CL-5442，日本クレア（株））
・飼育セーフティラック（マウス用，5列5段）（CL-5443，日本クレア（株））
・飼育セーフティラック（マウス用，4列5段）（特型，日本クレア（株））
・流水洗浄ネガティブラック（モルモット・ウサギ用，5列3段）（CL-5418，日本クレア（株））

4. 利用・予約方法

学内倫理に従った教育訓練を受講した後に，本学動物実験委員会に「動物実験計画書」を提出し，審査の後に学長承認を経て動物実験を行うことが出来る。ただし，本施設では遺伝子組換え体の使用が含まれる実験，感染性微生物の使用が含まれる実験等は実施できない。また，本施設は主に保健医療学部の教育，研究用として整備，利用されており，小規模の為，実験計画書等の提出前に施設責任者に相談することとしている。

実験動物の発注及び施設内への搬入は，実験者が動物発注書及び関連書類を施設へ提出した後に，実験動物管理者が指定業者（日本クレア（株），日本 SLC（株），東京実験動物（株），日本チャールスリバー（株）などの微生物学的に保証された実験用動物を取り扱う業者）に発注，搬入している。文部科学省科学研究費などの公的資金で実験用動物を購入，飼養する場合は実験動物管理者に事前に相談することとしている。

5. 利用料

利用料は飼養動物管理料としてマウス 1円/匹・日，ラット 2円/匹・日として各利用学科に請求している。また，実験動物の飼育に関わる床敷と餌の費用を月ごとに算出し，各利用学科に請求している。安楽死した動物（感染性産業廃棄物）は特別管理産業廃棄物保管場所に一時保管し，関連法規に従って適切に処理している。

6. 利用実績

本項目では、本施設の令和元年度の利用実績・遂行実験件数を記載する。

ラット3学科11件、マウス3学科14件の動物実験計画書の提出があった。実験動物施設で遂行される全ての動物実験計画書は、動物実験委員会審査・承認を受けた。その内訳は、動物実験計画書26件、中間報告書・自己点検票22件、動物実験結果報告書・自己点検票4件、動物実験（終了・中止）報告書4件であった。動物実験施設：実験動物種毎の飼養保管数（年間飼養保管数）は、マウス：94,044匹、ラット：1,031匹であった。



図1 実験動物施設



図2 実験動物施設 実験室（前室）